

学校支援活動の取組を紹介

● 学校支援活動とは？

地域学校協働本部（各自治会館）を拠点とし、学校の求めに応じて、各本部のコーディネーターが、学習支援や登下校時の安全指導、部活動支援などに地域の人材を学校支援ボランティアとして派遣し、学校の教育活動を支援する取り組みです。

玖珠町では、「地域全体で子どもを育てるまちづくり」を目指し、全小中学校で、地域の方の豊かな経験や知識・技能を生かした学習支援、環境整備、登下校時の見守り、学校行事の運営支援など様々な取り組みを実施しています。

その中でも今回は、くす星翔中学校での取り組みを紹介します。

くす星翔中学校の取組



機関庫の見学（1年生）

● 玖珠町のいいところさがしの旅

1年生は4班に分かれ、自分たちの住んでいる地域の観光名所などを紹介しました。また、他地域の良いところを見学し、玖珠町全体の良さを理解し関心を高めることを目的に、各地域の名所に詳しい地域の方々に講師として現地でガイドをしていただき、玖珠町のいいところさがしの旅を行いました。

● 調べ学習

2年生は、コロナ禍で延期となりましたが、修学旅行の調べ学習として、役場の文化財の担当職員を講師として招き、京都・奈良の町のつくりやお寺について学びました。



京都・奈良の調べ学習（2年生）

● キャリア教育（職業講話）授業

3年生は新型コロナウイルスの影響で、令和2年度は地域に向かいでの職場体験の実施が出来ませんでしたが、代わりに、地域の様々な職業の方々に講師として星翔中に来校していただき、キャリア教育（職業講話）を開催しました。

あべこさんによるミュージカル体験教室や消防士、保育士、理学療法士、理容師、IT系企業の社長から町長まで、たくさんの方々が講師として協力していただき、講演や体験教室を実施しました。子どもたちは、多種多様な職業の話を聞き、自分自身の将来に向け熱心に聞き入っていました。



理容師の方による実演（3年生）

小学生チャレンジ教室

（放課後活動支援事業）

協働活動サポーターを募集！

玖珠町では「放課後における子どもたちの安心・安全な居場所づくり」を目的として、小学生を対象に、年間を通じて「小学生チャレンジ教室」を実施しています。

現在、森中央小学校（森っ子わくわく広場）、塚脇小学校で（塚脇わくわく広場）、北山田小学校（北山田どんぐりクラブ）、八幡小学校（八幡わくわく広場）の4校で、基本的に毎週水曜日午後3時から5時まで、協働活動支援員を中心に、昔遊び、図画工作、料理やお菓子作りなどの教室を実施しており、現在協働活動サポーターを募集しています。

子どもたちと一緒に放課後の楽しい居場所を作ってみませんか？ ※交通費程度の謝金があります。



活動風景

【お問い合わせ先】
玖珠町教育委員会社会教育課
☎(72)7151